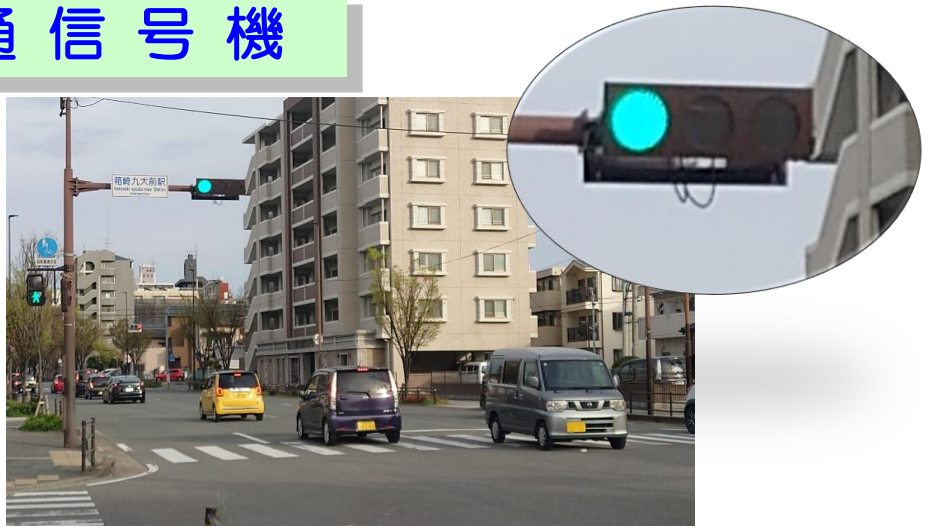
③交通信号機のコントロール

交通状況に応じて、青・黄・赤の信号表示時間を自動的にコントロールします。

交 通 信 号 機



交通信号機の歴史

- **世界初の灯火式信号機（1868年）**
  道路交通を整備するための最初の灯火式信号機は、英国のロンドンに設置されました。
  この装置は、青色、赤色の２色灯器で、光源としてはガスを使用していました。

- **世界初の電気式信号機（1918年）**
  電気を使用した最初の信号機は、米国のニューヨーク市５番街に設置されました。
  この装置は、青、黄、赤の３色灯器で灯器の意味は黄色が「進め」、赤が「止まれ」、青が「右左折可」であったようです。

- **日本初の信号機（1930年）**
  我が国最初の電気を使用した信号機は、東京の日比谷交差点に設置されました。
  この装置は、米国より輸入されたもので、青、黄、赤の3色灯器で、現在と少し異なるのは、青色及び赤色の後に黄色を同時に点灯していました。

- **福岡県初の信号機（1934年）**
  福岡県で最初の信号機は、福岡市中央区天神の天神交差点に設置されました。

- **LED(発光ダイオード)灯器の導入（1998年）**
  平成10年に福岡市博多区東公園の県庁北口交差点に県下初のLED灯器を設置しました。
  LED灯器は寿命が長く電球式の灯器に比べ約１０倍長持ちします。

※ 福岡県内の信号機は令和７年度末で、約9，５００基となっています。